科目名	精神看護学方法論	講師	非常勤講師および専任教員
履修時期	2年　後期	単位数 時間数	1 30

＜科目設定理由＞
多くの精神科病院が急性期治療中心の方向に舵を切り、入院期間は確実に短縮している。さらに2013年に障害者自立支援法が障害者総合支援法に切り替わり、その翌年には障害者権利条約が発効するなど、精神障害者支援の法制度も次々と更新され、訪問看護も広まってきた。しかし、長期入院患者は相変わらず多く、また社会全体としてみても、うつ病をはじめとする職場におけるメンタルヘルス上の問題をもつ労働者の増加、アディクションや発達障害への対応といった新たな問題が出現している。これらの状況を踏まえ、入院か地域かに関わらず、精神障害を抱える人々や家族の回復（リカバリー）を援助の中心に吸え、病理や問題に限らず、当事者のもつ力（ストレングス）あるいはレジリエンスなどポジティブな可能性に注目して看護を学んでほしい。また、心を病んだ人を前にしてその人を理解する過程そのものが看護であること、患者と看護師の関係性が治療と深く関係していることを理解してほしい。

学習目標	1、精神科での援助におけるアセスメントの視点がわかる。 2、精神科看護における援助の特徴と方法がわかる。 3、精神科病棟の特徴と治療的環境についてわかる。 4、精神科リハビリテーションの意味とサポートシステムがわかる 5、救急医療現場における精神科科対応と看護がわかる。 6、疾患に伴う症状と看護が理解できる 7、こころに障害をもつ対象と向き合い自己理解を深めることができる
学習内容	授業内容 PART　Ⅰ　　10回 精神看護学②　第4章 精神科看護における対象の理解 精神看護学②　第5章 精神科看護におけるケアの方法 精神看護学②　第6章 入院環境と治療的アプローチ 精神看護学②　第7章 精神保健活動とリハビリテーション　　心理教育（服薬管理）含む 精神看護学②　第8章 救急医療現場における患者支援と精神的関わり 精神看護学②　第9章 事例に学ぶ看護の実際 精神看護学①　第9章 看護の倫理と人権擁護 PART　Ⅱ　4回 オレム・アンダーウッド理論のアセスメントの視点 ストレングスモデル 関係の成立・進展のための援助技術 対人関係のスキルを高める ふり返りの技術（プロセスレコード） 対処能力を高める援助技術（自己一致・自己開示・アサーティブ行動） 成年後見制度（合同授業1回） 終講試験　　1回
授業形態	講義（グループワーク等も含む）　演習
評価方法及び評価の観点	出欠席状況　授業への取り組み及び課題レポート、筆記試験を総合的に評価する（PART1筆記試験80%、PART2レポート等20%）
テキスト	ナーシンググラフィカ精神看護学①情緒発達と精神看護の基本②精神障害と看護の実践　メディカ出版
参考資料・図書	系統看護学講座専門分野Ⅱ　精神看護学の基礎・精神看護の展開（武井麻子著：医学書院）　自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード（長谷川雅美編：日総研）
履修上の注意・受講条件	